

2019年度行動文化論ゼミ合宿報告

行動文化論ゼミ（社会心理学）では、ゼミ生一人ひとりが地域の多様な現場に飛び込み、人びとの営みに密着しながらフィールドワークを行って卒業研究を仕上げます。この度、当ゼミでは、10月19日～20日の日程で、茨城県高萩市および日立市にて9名のゼミ生が参加してのゼミ合宿を実施しました。その主な内容は、現在高萩市役所に勤めるOGとの懇親会、3年生の研究テーマの報告および地域見学です。OGとの懇親会では、就職活動を目前に控えた3年生にとってはその仕事を知り、視野を広げるため、また春から社会人となる4年生にとっては、社会人としてあるべき姿を学び、今後に生かすことをねらいとしました。地域見学のねらいは、高萩市では歴史民俗資料館や安良川八幡宮を、また日立市では御岩神社を訪れることで、その土地の歴史や生活について学ぶことでした。

合宿の実施にあたっては、4年生2名の幹事を中心に学生主体で、行き先の選定、スケジュール作成や宿の予約、当日の進行、そして終了後の会計報告という一連の作業を担いました。一日目はあいにくの雨でしたが、二日目の御岩山登山の際は天候に恵まれ、おかげさまで充実した合宿となりました。以下に幹事の感想を紹介します。

ゼミ合宿を終えて一川満玲奈

今回は、水戸からほど近い高萩・日立の地での合宿となりましたが、幹事をはじめ、この地を訪れたことがあるというゼミ生はおらず、ゼミ生皆にとって新鮮な体験となりました。

1日目に訪れた高萩市では、高萩市歴史民俗資料館を訪れ、この地出身の地理学者・長久保赤水が完成させた「改正日本輿地路程全図(赤水図)」という日本地図を見学し、現在の日本地図との違いについて話し合ったり、展示の民具類などから昔の人びとの生活に思いをはせました。また、同日に行われたOGとの懇親会では、若手公務員のお話を伺うことができ、公務員志望の学生が多い当ゼミにとっては貴重な機会となりました。

2日目に訪れた日立市では、パワースポットとしても有名な御岩神社を訪れ、御岩山を登りました。前日の雨も影響してか、足元の悪い中での登山となりましたが、無事にたどり着いた山頂からの景色には達成感を感じました。道中ではすれ違う人たちに励ましていただいたり、御岩山の謂れを教えてくださいました方などとの素敵な出会いもありました。

全日程を通して、茨城県の身近な地域の歴史・文化に親しむことができ、学びを深めるよい体験となりました。卒論でのフィールドワークの経験が社会に出る上で役に立っているというOGの声を励みに、卒論も頑張りたいと思います。

末筆ながら、後援会の皆様には、今回のゼミ合宿を実施するにあたり、ご支援を賜りましたことを厚くお礼申し上げます。

(担当教員：石井宏典)

合宿中の様子(1日目)



写真1：高萩駅前の長久保赤水像とともに



写真2：高萩市歴史民俗資料館前の赤水図



写真3：安良川八幡宮の爺杉



写真4：OGの松本さんのお話を聞いている様子



写真5：OGの松本さんと記念撮影

合宿中の様子(2日目)



写真6：御岩神社入り口の様子



写真7：御岩神社拝殿前にて記念撮影



写真8：御岩山登山の様子



写真9：御岩山山頂からの景色



写真10：御岩山山頂にて記念撮影